

令和4年度 常葉大学教職大学院 第2回連携協力協議会

- ◆ 日 時 令和5年2月17日(金) 13:30~16:30
- ◆ 場 所 常葉大学静岡草薙キャンパス A棟3階A301教室 他

次 第

進行(粉川)

- 1 【全体会】 13:30~13:45 A301教室
(1) あいさつ 久米 昭洋 研究科長
(2) 本日の日程・会場、課題研究成果報告会についての説明

- 2 【課題研究成果報告会】 13:45~14:40 A棟3階

— 休憩及び移動 — (14:40~14:50)

- 3 【講演会】 14:50~15:50 A301教室
 - ・演題 「令和の日本型学校教育」を担う校長のリーダーシップ—管理型から促進型へ—
 - ・講師 独立行政法人 教職員支援機構 理事 大路 正浩 氏
— 移動 — (15:50~15:55)

- 4 【グループ別協議】 15:55~16:30
 - ・行政、協力施設 < A308 教室 >
 - ・令和4年度中学校ARIの連携協力校 < A302 教室 >
 - ・令和4年度ARI・II・IIIの連携協力校 < A309 教室 >
 - ・令和4・5年度現職教員原籍校 < A301 教室 >
 - ・外国人児童教育観察実習校 < A303 教室 >
— 閉会(グループごと) — (16:30)

【グループ別協議内容】

委員から出された意見（抜粋）	大学院側の回答
<p>当該の学部卒院生には、実習やボランティアはもちろんのこと、スクールサポートスタッフとしても関わってもらった。今日、成果報告会の発表を聞き、もう少し授業に関わらせてあげてもよかったと感じた。</p>	
<p>新型コロナの影響で学校が大変な時期でもあったので、学部卒院生の配属はとても助かった。低学年の個別指導に入ってもらったり、発達障害のある子供に関わってもらったりした。</p>	
<p>学部卒院生が初任者として学校に着任した時、AR経験のある学生とそうでない学生とで、違いが表れることを願っている。</p>	
<p>学部卒院生は研究のために学校に来ているかと思うので、学校側でつける評価が簡単なものになると有り難い。</p>	<p>評価の様式は簡単なものになっているかと思う。実習校での取組を重視したいので、引き続きお願いしたい。</p>
<p>ARⅡの期間中、当該学部卒院生には、4年生の自然教室について行ってもらい、大変助かった。管理職が決めたことではなく、学年部の要望に基づくものである。それだけ、本人が他の教員から頼りにされていたということだと思う。</p>	
<p>ARのシステムは、実習校にとって恩恵のあるものだと感じる。今後も、互いに協力し合う中でやっていきたい。</p>	